

AGICA

新製品「AGICA GLAND-TEX 5.0」発表会 トークショー



2018年2月8日(木) 11時より、TRUNK HOTEL3F「SORANIWA」でAGICA新製品「AGICA GLAND-TEX 5.0」発表会を行いました。トークショーでは、ハースト・メンズ・メディア・ブランド・アンバサダー兼ナノ・ユニバース メンズディレクターの戸賀敬城氏、写真家の桐島ローランド氏による「仕事がデキる男のリユクスなライフスタイル」をテーマにお話いただきました。

MC：お二人のご登場です。あたたかい拍手でお迎えください。戸賀敬城さん、桐島ローランドさんです。本当にスタイリッシュでこのステージが一気に華やかになりました。せっかくなので、本日のファッションテーマをお聞かせください。

桐島氏：僕は普段着です。トガッチは、さすがスーツが似合っていますね。

戸賀氏：僕もそちら側（テーブルを見渡して）に座る立場なので、皆さんに失礼がないようにと思って。靴下は履いてこなかったんですけども。

MC：そちらがファッションポイントかなと思いました。

戸賀氏：でも、ネクタイは締めてこないといけないかな、ローリー（桐島氏、以下同）を立てないといけないかなと思ひまして。



MC：お二人ともとてもスタイリッシュでいらっしゃいます。今日はお二人に仕事ができる男性のリクスなライフスタイル、つまりライフスタイルについていろいろお聞かせいただきたいと思ひます。

戸賀さんのブログを拝見しましたら、先日、深いお時間までお酒を飲んでいらっしゃったようですね。

戸賀氏：今週、同じ歳くらいの男性3人と3日間続けて飲んだんだけど、毎回、割り勘なんだよ。でも、それはイヤなので男らしいところ見せない？という話しになって。1人1日担当で、忙しいのに3日間続けて同じメンツで飲むことになって。その中の1人がローリーを知っていて、ローリーを呼ぼうってなって。12時半くらいに連絡したけどガン無視してるっていう。（笑）

桐島氏：寝てた。朝、LINEを見たら「あれ？」って。（笑） 元気ですね。

MC：ちなみに戸賀さん、昨日は何時まで飲んでいたんですか？

戸賀氏：寝たのは4時くらい。

MC：朝の4時に寝られて、このスタイリッシュさ。すばらしいですね。

戸賀氏：いやいや、むくみがなかなか取れない歳になったし。

MC：健康や元気の秘訣を教えてくださいませんか？

戸賀氏：美容が好きなんです。プロフェッショナルみたいに使われがちなんですけど、ただの美容好きなんです。亡くなられた大先輩のWWDの山室さん（「WWD ジャパン」、「WWD ビューティー」編集長 故・山室一幸氏）みたいにパーフェクトではないんです、僕の場合は。期待値が高くて困るんですけど。白髪も増えたし。今日のテーマでもあるけど、加齢臭もね。ゴルフの帰りにシャワーを浴びずに帰ると、車の中が「これは汗のニオイではないな」と。

MC：年齢を重ねた香りということですか？

戸賀氏：そうそうそう。あとは体型の問題とか。抱えている問題はここにいらっしゃる皆さん以上に確実に抱えていると思います。そう見えない努力はね。ローリーみたいにモデルあがりてこんなにシャープだったらね。

桐島氏：いやいや、なんの努力もしてないよ。

戸賀氏：それは嫌味に聞こえる。（笑）

MC：（桐島氏のことを）ローリーと呼んでいらっしゃいましたが、昔から仲の良いご友人なのでしょうか。

桐島氏：最初は仕事がきっかけで。今日のようなイベントのトークショーで一緒に登壇したのがきっかけでした。彼（戸賀氏）は編集者で僕はカメラマンで。もちろん共通の知り合いも多くて。彼（戸賀氏）は悪名高いんだよね。（笑） いい兄貴分です。

MC：お二人の年齢は？具体的にお歳を伺ってもいいですか？

桐島氏：僕は49歳。今年の4月で50歳になります。アメリカではビッグフィフティーといって、日本で言う還暦みたいに50歳を盛大に祝うので、今年は久々にちょっと暴れようかなと。

戸賀氏：僕は今年 51 歳です。

MC：お二人ともそのようには見えませんよね。ここはひとつ、ライフスタイルについて深く掘り下げてみたいと思います。戸賀さんは、いろいろ努力されていらっしゃるとおっしゃっていましたが。桐島さんは、スキンケアはされていますか？

桐島氏：僕は何もしていません。

戸賀氏：うらやましいね。ご両親に感謝だね。

桐島氏：洗顔は石けんも使わない。水だけ。

MC：洗いすぎるとうるおいまで落としてしまうので、（水だけで洗うのは）一つの美容方法かもしれないですね。

桐島氏：自分の肌にはそれがいいかなと。

MC：どちらかというと乾燥肌ですか？

桐島氏：そうですね。

MC：50 歳を迎える男性からすると、とてもうらやましいお話しですよ。戸賀さんは？

戸賀氏：ふつうに人並みに洗って、美容液を使ったり。サクサクサクッとよ。よく「鏡の前に 10 分ほど素っ裸で立っていそう」とか言われるんだけど。（会場笑） 全然、そんなことない。

MC：本当ですか？！

戸賀氏：本当、本当。髪型もあまり気にせずにパパッとだし。鏡にずっと向かってそうだとされるけど。

MC：ローランドさん、どう思われますか？

桐島氏：それは僕も聞いたことがある。

(会場笑)

戸賀氏：それは僕と同業の少しだけ悪い人たちが言っているだけのことです。(美容に) ちょっとハマってお高い系のものを使ってみたこともあったり、僕の中でも波はありますけれど。毎月、エステに行くとかはないです。ご先祖がね、ゲーハー系が多くて。

(会場笑)

MC：それはサラブレッドでいらっしゃいますか？

戸賀氏：そうそう。白髪も増えてきて。2 週間に一度、髪を切りに行くけど染める時間がなかなかなくて。白髪とか髪の毛の量とか、悩みです。



桐島氏：それは仕方ないよね。

MC：お仕事の勲章かと思います。さて、AGICA を一足先に試されたとお聞きしていますが、お使いになっていかがでしょうか？

戸賀氏：ボディソープはこれまでにいろいろと使ってきました。AGICA を作られた倉崎さんとい

う社長さんがちょっと変わっていて。商品のことを別に褒めなくていいから本音を言って欲しいと言われているので、そのとおりやらせてもらいたいと思います。僕はナイロンタオルを使うんですよ。使うと（肌が）黒ずむって言うじゃないですか？でも全然、黒ずみとかないので、伝説だと思っています。そのナイロンタオルに AGICA をかけて泡立てて体を洗っています。僕はさすががよくないのが好きではなくて、ヌメヌメするのが嫌なんです。バスタオルで拭いて、ギスギスする（肌がきしむ）のもしっとりし過ぎるのも好きではないです。この前、AGICA を使わない日を設けてみたんです。撮影で化繊とウールの服を脱いだり着たりする日があって。2 着目で静電気バリバリになってしまって。少し保湿力の高いものを使うと、静電気でパンツがまとわりつくこともない。AGICA はさすががラクで静電気が起きづらく、保湿力があることを教えてもらいました。

MC：乾燥し過ぎないということでしょうかね。

戸賀氏：AGICA は香りも爽やか。いわゆるメンソール系が強くないのよ。メンソールが悪いわけではないけど、「スースーすること」イコール「男もの」みたいな世界があるじゃない？ 僕の主観で言えば安かろう悪かろう。良く言えば鎮静効果かもしれないけど。どうしてもあまりいいものが入っていないイメージがある。AGICA はその感じがない。女性に使ってもらってもよさそうです。言葉を選ばないといけないけれど、女性の加齢臭も。ね。

MC：大きな声では言えないけれど。ということですね。

戸賀氏：AGICA は女性が使っても違和感がない仕上がりになっていると思います。そこがプレミアムなのかなと勝手に解釈していました。（※AGICA PREMIUM BODY SOUP という名称から）

MC：男性でも女性でも使える製品ということですね。桐島さんはいかがですか？

桐島氏：僕も実は肉好きで。こういう顔なんで、それなりに香りがするみたいなんです。女性からすると。

MC：ご自身ではそのご自覚は？

桐島氏：ないですけどね。特に最近、14 歳の娘に「洗濯機で同じものを洗わないで」とか言われて困っています。特にその世代はそのあたりが非常にシビアなので。

MC：でも桐島さんみたいな方がお父さんだったら、女性の皆さま、うれしいですよ。

桐島氏：いやいや、娘にそれを言われてけっこうショックで。仕事で接する方とか、そういうことは言わないじゃないですか。クサいとか。娘ははっきり言いますね。奥さんにも言われたことがなかったので、娘に言われたことはショックでした。デオドラントとか正直、使っていなかったんですがここ数年で使うようになって。デオドラントソープにも興味があります。そして今回使ってみたら、そんなに（香料の）香りもしない。娘が「ニオイがしなくなった」と言っていましたね。

MC：鋭いコメントを言われる娘さんがゴーサインを出したということですね。

桐島氏：お風呂場に置いていたら、奥さんも使っていました。（加齢臭対策用とは思わず）普通のボディソープだと思ったのだと思います。

戸賀氏：デザインも大事なんですよ。

桐島氏：AGICAは「いかにも男」な感じではないし。スタイリッシュですよ。



MC：ご家族で使っていただけのお墨付きをいただけたということで。

戸賀氏：ただしプレミアムだけだね。

MC：これまでは外見や身だしなみについて気を付けていることを伺ったのですが、今度は内面についてお聞きしたいと思います。お二人は、スタイリッシュで男の色気をお持ちでいらっしゃると思うのですが、男の色気とはズバリ何でしょうか？

桐島氏：「優しさ」じゃないですかね。

MC：「優しさ」について意識されていらっしゃるということですね。

桐島氏：（自分は）色っぽくないと思ってる。色っぽくなりたいなと思うんですけど。母親と姉が二人いて、怖い女性に育てられたので。毎日いじめられていたので、優しい男性になりたいなと。色っぽい男は女性に対して優しいなと思います。優しい男になりたいなと思うんですが、そこはまだ日々努力をしています。

戸賀氏：プレス受けしそうなコメントだよね。

（会場笑）

MC：つまり桐島さんご自身のことは色気があるとは自覚されていらっしゃるのでしょうか？

桐島氏：ないと思います。たぶんみんなガッカリすると思います。

戸賀氏：ちょっととっつきづらそうじゃないですか？でも、ローリーはそれが全然ない。本当にこのまんま。一見、難しそうに見えるかもしれないけれど。

桐島氏：そうなんです。よく誤解されて、それがいい時もあるんだけど、会うとガッカリするっていう。

MC：意外とフランクなんだな。ということですね。

戸賀氏：そうそう。全然気取りがないし、怒ったりも絶対しないし。僕の方がよっぽど細かくて。

桐島氏：怒りっぽいよね。今日も朝からブンブンしてて。控え室で怖くて怖くて。（笑）

戸賀氏：（桐島氏とは）12年くらいの付き合いだけど、飲んでるばかり。仕事は最初だけだね。仕事は10年振りくらい？

桐島氏：悪さしようって言っているのにしていないよね。いつも野郎ばかりの飲み会で。「いつ女子を呼ぶのだろう？」っていう。トガッチってそういうイメージがあるから。（会場笑）期待しているんだけどいつも男子の会なんですよ。（戸賀さんは）男っぽいです。

MC：武士道って感じなんですかね。戸賀さんはご自身に色気があると思われませんか？

戸賀氏：若い頃は努力したというか探し求めたけど。僕は車が好きで、助手席に女性を乗せてバックギアに入れた時の仕草がどうか言うじゃない？そういうのは構わない歳になってきて。今回のトークショーは台本はないんですけど、お題はもらっていたので考えてみたけど「笑顔」かなって。50歳になっても60歳になっても70歳になっても若い時はなんでもカッコイイんだけど、笑顔が似合うそしていつもニコニコしてられる人がカッコイイかなと。太っていても貧相でも笑顔が素敵な人はいいなと。仕事が上手くいっている人とかモテる人とか、いつも笑っている人が多いかなって、ちょっと思いました。



MC：「歳を重ねても笑顔が似合う」、それこそが男の色気ではないかということですね。そして、そちらに向かって内面を磨いていると。

戸賀氏：そうだね。あまり進化していないかな、その辺は。

桐島氏：どちらかと言えば悪化しているよね、本当に。(笑) 20 歳代の方が今よりも志が高かった。「ちゃんとした男になろう」って思ってたけど、年々ダメになっていく。

MC：でもそれはいい意味で「余計なものがそぎ落とされてきた」という解釈もできるのではないのでしょうか？

戸賀氏：いや。場数で近道が上手になった。面倒くさいことをなるべくスルーして、早く終わるようにとか、早くお金になるようにとか。早く寝たいとか。

MC：いわゆる欲の部分ですか？

戸賀氏：渋滞情報の VICS じゃないけれど、生活しててもゴールが早く見えるとか結果が出るようにとか、そんなことばかり考えてる。

MC：きっとそういった姿が第三者が拝見するとスタイリッシュに見える所以なのではないでしょうか？

桐島氏：効率的に生きるのが好きなタイプで、テクノロジーも否定しないし。一緒にいて苦痛ではない男になりたいとは思いますがね。そういう意味ではまさに、効率的な男は一緒にいたらラクだと思いますよ。

MC：「デキる男はモテる」という印象がありますよね。

戸賀氏：正直、モデルをやってフォトグラファーになって、ずっとモテてるでしょう？

桐島氏：そうですね。(笑)

戸賀氏：モテないわけがない。ここで笑いが出ないのが辛いところですけど。(会場笑) ここが同業のシンドさというか、厳しさというか。だけど、俺はだんだんモテは減ってきてるかな、加齢とともに。大学生の時とかモテたけど。

桐島氏：だけど、日本は年上好きの方が多いから、まだまだこれからではないですか？ロマンスグレーになってからとか。

MC：先ほどの笑顔が似合うダンディーな男性を目指して、そのまま大ブレイクを？

戸賀氏：僕、（頬の）片っ方だけエクボが出るんですよ。気持ち悪いんですけど。（会場笑）「エクボが出るんですね」とよく言われた時があったけど、もう 10 年くらい言われなくなった。

（会場笑）

MC：それは戸賀さんにそんなことを言えるような方が、周りにいらっしゃらないだけではないでしょうか。

戸賀氏：笑顔が似合うオヤジになんないとな。と。それは模索中というか。

MC：夜は男性で集まることが多いと伺いました。同性から見てカッコイイと思われる姿になってこられたのではないかと思います。ご自身ではどうですか？

桐島氏：男性にモテたいですね。今の女性は女性にモテたいという願望があると思うんですが、男性も男性にモテたい、男仲間に好かれたいというのはあると思いますよ。

MC：それこそ内面の磨きが必要になってきますよね。

桐島氏：インテリジェンスというよりも、幅広く物事を知っていることが重要かもしれないし。

MC：物事を知っているとありますが、桐島さんは 50 歳になるまでに、世界 100 ヶ国を旅することを目指しているとか？

桐島氏：今、95 ヶ国くらい行っていて。ギリギリ行けそうです。

MC：一人旅がお好きなのか、結果として一人旅になることが多いのですか？

桐島氏：一人がラクなんですよ。みんなでスケジュールを合わせるのはムリなので。あと、家族で旅行するととんでもない金額になる。妻と子供たちも一緒となると正直、韓国くらいにしか行けない。一人だと、ちょっといろいろ行ってみようと。どうせ行くなら効率的に。さっきの効率の話しになりますけど、何ヶ国か行きたいなと。



MC：ぜひ 100 カ国を目指していただきたいと思います。達成した暁には皆さんにも教えていただけますでしょうか。

桐島氏：ちょうど 50 歳になるのが 4 月なので。うちの父親がスコットランド生まれなので。スコットランドとアイルランドとマン島と、あと北アイルランドに行ったことがないから。

戸賀氏：お酒が美味しいところだらけじゃない？

桐島氏：だけど今回はバイクで巡るからお酒はちょっと・・・。

MC：バイクは現地でレンタルされるんですか？

桐島氏：ドイツで買ってそれで乗って。自分のバースデープレゼントでちょっと買おうかなと。50 歳の記念に。スコットランドとアイルランドとマン島、イギリス（を巡って）そして東京に戻ろうかと。

MC：きっとその行動力も男の色気やカッコよさにつながるのではないのでしょうか。

戸賀氏：どっかに行ってアタフタしないとかさ。人が行かない国にそうやってサバサバ行ったり

さ。

桐島氏：今はグーグルのおかげで旅行が本当に簡単になって。ホテルをとるのも簡単だし、情報も全部出てるし。昔は中国とか行ったら何がなんだかわからなかったけど、今は地下鉄に乗って移動ができるし。言葉は一言もしゃべれないけど、そういうドキドキがなくなった。今は旅をするのが本当に簡単でいい時代になったなって思います。レストランとかも知らない国に行って、美味しいか美味しくないかもすごく不安だったのがトリップアドバイザーとか見ればなんでもわかる。そういう不安がなくなったね。

MC：戸賀さんにも伺いたいのですが、お時間が迫ってきました。戸賀さんには皆さまに向けて一言いただけますでしょうか。

戸賀氏：加齢臭の話をしますね。食べものも運動も大事だけど、すぐに結果が出るわけではないですね。残念ながら。でも、やらなければいつまでも変わらないし。ずっとノネナールという悪い物質と向き合わなければいけないわけで。今日はこんなに女性が多いと思わなかったんですが、AGICA を持ち帰って試していただいて、よかったら周りのおやじにぜひ紹介してもらいたいなと思っています。

MC：ありがとうございます。では、桐島さんから一言お願いします。

桐島氏：この歳になって、もっと自分を磨かないといけないと思っています。身だしなみも若い頃はどうでもいいと思っていましたが。日本の女性は細かいところを見ているし気にするので、体臭もケアしていかないといけない年齢になったなど。今回、いいきっかけで AGICA に出会えてラッキーでした。

MC：ありがとうございました。以上でトークショーを終了とさせていただきます。お二人に大きな拍手をお願いします。お二人に大人の色気、デキる男を切り口にお話をいただきました。以上をもちまして AGICA 新製品発表会を終了させていただきます。



「AGICA GLAND-TEX 5.0」発表会テキストおよびPR 向け商品イメージ
データ等は以下よりダウンロードいただけます。

<http://www.studioline.jp/agica2018pr.zip>